

入野賞 第3回室内楽受賞作品コンサート



The 3rd Irino Prize Chamber Music Concert

■ ■ ■ Program ■ ■ ■

- タクチャン・ホイ(1983-)：弦楽四重奏のための「輪…年輪」(第38回入野賞受賞)
Tak Cheung Hui: Ring... Tree Rings for string quartet (2017)

- 藤田正典(1946-2010)：ヴァイオリンとハープのための「ロトスII」
Masanori Fujita: Lotos II for violin and harp (1979)

- ジェシ・ブローケマン(1985-)：8楽器のための「ナロウ・ヌメラス」(第40回入野賞受賞)
Jesse Broekman: Narrow numerous for 8 instruments (2018)

- ヨウニ・ヒルヴェラ(1982-)：オルガンとエレクトロニクスを伴ったアンサンブルのための
「アーテメン・ヴエルク」(第38回入野賞受賞)
Jouni Hirvelä: Atmenwerk for ensemble with organ and electronics (2016)

- 入野義朗(1921-1980)：フルート、ハープ、打楽器のための「シュトーレムング」
Yoshiro Irino: Strömung for flute, harp and percussion (1973)

- ウトク・アシュロール(1986-)：アンサンブルのための「ウント」(第40回入野賞受賞)
Utku Asuroglu: Und for ensemble (2017)

日時: 2021年11月12日(金) 18:30開場／19:00開演

於: 府中の森芸術劇場 ウィーンホール

チケット: 一般3,000円／学生2,000円

※就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい

チケット取扱い: チケットぴあ Pコード:203711 <https://t.pia.jp/>
府中の森芸術劇場チケットセンター(窓口販売のみ)

演奏: アンサンブル・ノマド

佐藤紀雄(cond) 木ノ脇道元(fl) 菊地秀夫(cl) 塚原里江(fg) 花田和加子・川口静華(vn)

甲斐史子(va) 細井唯(vc) 稲垣聰(pf) 宮本典子・大久保貴之(perc)

梅干野安未(org) 高野麗音(hp) 萌 孝之・片桐健順(音響)

お問い合わせ: keynote(キーノート) Tel: 0422-44-1165 keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

※発熱や咳など、体調不良の症状がある方や、マスクを着用されていない方はご入場いただけません。

● ● ●

主催: 入野賞基金(代表: 入野禮子) <http://www.irinoprize.jp>

企画: 入野賞選考委員会(田中聰・萌 孝之・たかの舞俐・三輪眞弘・鈴木治行・成本理香)

助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 公益財団法人朝日新聞文化財団

入野賞 第3回室内楽受賞作品コンサート

The 3rd Irino Prize Chamber Music Concert

■ ■ ■ Composers ■ ■ ■



入野賞は1980年、日本を代表する作曲家の一人であられた故入野義朗氏の功績をたたえ設立された。新しい方向性を探求し、革新的な創造性を提示する若い作曲家のための国際作曲賞であり、毎年開催される室内楽部門と隔年で開催される室内オーケストラ作品部門から成る。入野賞は入野義朗氏の没後（1980年6月23日）、湯浅謙二、松平頼暁、石井眞木各氏の協力のもと、入野禮子氏によって設立された入野賞基金によって運営されている。

入野義朗 Yoshiro Vladimir Irino



ラジオストク出身。東京帝国大学（現東京大学）在学中に作曲を諸井三郎に師事。桐朋学園音楽科設立に参加、音楽教育に尽力する。軽井沢現代音楽祭、パシフィック・フェスティヴァルなどを企画し、新しい音楽を追求、紹介する。アジア作曲家連盟（ACL）の設立に参加。12音技法の紹介、作曲で先駆的役割を果たす。100余曲の作品を残し、尾高賞、イタリア賞などを受賞。没後「入野賞」、1981年にはアジアの作曲家のための「ACL入野義朗記念作曲賞」が設立される。従五位勲四等旭日小綬章が追授される。

藤田正典 Masanori Fujita



1946年栃木県生まれ。1967年より作曲を故・入野義朗氏に師事。1970年、日独現代音楽祭作曲コンクール優勝。ベルリン市の奨学生を受け現在のベルリン芸術大学にて4年間故・ユン・イサンに作曲を師事する。1975年、スイス国際作曲コンクール入賞。1982年にはピアノとオーケストラのための「オーロラIV」が第1回入野賞を受賞。小澤征爾指揮、木村かおり（ピアノ）、新日フィルによって初演される。同年、ピアノと打楽器のための「風波」がドイツ大使賞を受賞。1993年には第43回ベルリン芸術週間にオーケストラのための「輪廻」が初演され、ドイツ各紙で大反響を呼んだ。1986年より国際作曲コンクール「入野賞」の選考委員を務める。

【府中の森芸術劇場】 東京都府中市浅間町1-2 Tel: 042-335-6211
京王線「府中駅」北口より徒歩7分



※表面樂譜:『8樂器のための「ナロウ・スマラス」』、『オルガンとエレクトロニクスを伴ったアンサンブルのための「アートメン・ヴェルク」』より

タクチャン・ホイ Tak Cheung Hui -中国・香港（第38回受賞）



香港生まれ。独学でギターを学び、ロックバンドで演奏活動を開始。その後、香港芸術アカデミーで正式な音楽教育を始める。アムステルダム音楽院で作曲を学び修士号を取得後、奨学生を得てボストン大学に進み2020年に修士号を取得する。2017～2018年、同大学の助成金を得てIRCAMのCursusプログラムにおいてさらなる研究を進める。作品はソロからオーケストラ、マルチメディア、西洋音楽から中国伝統音楽まで幅広く、これまでにAtlas Ensemble 2014、Sound Icon BU/SI 2015をはじめとする数多くの作曲賞を受賞。また10/10Ensemble、Ensemble Recherche、MDI Ensembleなどによって世界各地の現代音楽祭で作品が紹介されている。

ヨウニ・ヒルヴェラ Jouni Hirvelä -フィンランド（第38回受賞）



ヘルシンキを拠点に活躍。シベリウス音楽院で修士号を取得し、V.Puumala氏とT.Nevanlinna氏に師事。また、ドイツのベルリン芸術大学においては、E.Mendora氏の指導を受けた。さらに、K.Saariaho、M.Stroppa、C.CzernowinやH.Thomalla氏らのマスター・クラスやワークショップに参加。現在はシベリウス音楽院の博士課程に在籍中。これまでフィンランド、ドイツ、トルク、韓国の音楽祭から委嘱を受け、Avanti! Talea Ensemble, Helsinki Chamber Choir, アンサンブル金沢等により作品が演奏されている。2012年には、Rautavaara Chamber Choir Competition、2014年にFeeding Music Competition作曲賞のファイナリストに選出された。現在、Finnish Cultural Foundation, Kordelin Foundation, Arts Promotion Centre Finlandの支援を受けて活動している。

ジェシ・ブローカマン Jesse Broekman -オランダ（第40回受賞）



2005年から2013年にかけてアムステルダム大学で哲学を、ユトレヒト芸術学院においてB.Woof氏とJ.Tamminga氏に作曲と音楽テクノロジーを、シトウットガルト音楽院でM.Stroppa氏のもと作曲を学ぶ。エレクトロニクスを使用した室内楽作品を中心にダンスや演劇、インスタレーションなど幅広く作曲しており、ハンブルク・オーケストラ、ナイケル・アンサンブル、アセロ弦楽四重奏団、ゲンディン・ガムラン・アンサンブルなど多くのアンサンブルのために作品を書いており、また、ガウデアムス音楽週間、ウーン・モダン・フェスティバル、トンブルイネル・フェスティバルなど国際的な音楽祭で作品が演奏されている。現在、ゲント王立芸術アカデミー・音楽院にて電子音楽を教えている。

ウトク・アシュロール Utku Asuroglu -トルコ（第40回受賞）



ロッテルダム音楽院、グラーツ国立音楽大学、フライブルク音楽大学にてB.FerneyhoughやC.Gadenstatter、G.Pessonの各氏に作曲を学ぶ。2015年のInternational Gaudeamus Prizeをはじめ、2016年韓国のGoethe Award、オーストリア文化省“Outstanding Artist Award for Music”、2021年Salvatore Martirano Composition賞など数々の賞を受賞。作品はパリのIRCAMやISCM世界音楽の日々、ガウデアムス音楽週間、MATA音楽祭などオランダ、韓国、ドイツ各地の現代音楽フェスティバルにおいて演奏されている。現在はスタンフォード大学博士課程に在籍中。作品はベルリンのGRAVIS社から出版されている。

入野賞 若い作曲家のための国際作曲コンクール

第44回 入野賞 室内オーケストラ作品部門：賞金30万円

第45回 入野賞 室内楽部門（電子音響付き可）：賞金20万円

応募締切：2022年6月23日（消印有効）

詳細は www.irinoprize.jp をご参照ください。